

「野の花の丘便り」9月

花はどこへ行った

9月になり、咲いている花は黄色のオミナエシ、キンミズヒキ、赤色のエゾミソハギ、紺色のエゾノコンギクくらいになりました。それも本来の色ではなく、色褪せて終わりに近づいて来ました。

これからは今少し咲きかけている紫のユウゼンギクと、園路の反対側のピンク色のハギの花が、寂しくなる9月の「野の花の丘」を彩ってくれます。

今年もそれぞれが頑張って花を咲かせてくれましたが、残念ながら姿が見えなくなった花もあります。

まずエゾミソガワソウですが、何年か前には紫の美しい花を咲かせていたのですが、いつの間にか完全に姿を消してしまいました。次にチシマアザミ、これも昨年までは芽を出していましたが花は咲かず、今年は芽も出ませんでした。ハンゴンソウは芽は出たのですが、残念ながら花は咲きませんでした。

「花はどこへ行った」のでしょうか。これからどのように復活させるか、悩み多い事であります。

見えなくなってしまった花たち

エゾミソガワソウ

チシマアザミ

ハンゴンソウ

